

鶏肉情勢

令和3年9月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供給	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会令和3年8月下旬実施)によると7月の推計実績は処理羽数59,949千羽(前年比101%)・処理重量179.7千t(同101.3%)となった。前月時点の推計より処理羽数は0.7%下方修正し、処理重量は0.7%上方修正となった。本格的な暑さの影響で一部の産地では熟死等も見られたが南九州産地・東北産地ともに増体が良く、全体的に安定した生産状況となった。 (2) 生産の見込みでは2021年9月、10月ともに入すうが前年を下回る見込みとなっており、10月の処理羽数・重量ともに前年を下回る計画となっている。季節の変わり目で育成の悪化も懸念されるが夏場同様に各産地の増体の向上に期待したい。
	2. 輸入 (1) 財務省7月27日公表の貿易統計によると2021年7月の鶏肉(原料肉)の輸入量は4万4,749tで前年同月の実績を約13.2%下回った。前月同様に前年を下回っており、前月時点での予測数値に近い実績となった。先々の見通しでは鶏肉輸入品の主な輸入先のタイでコロナ禍による生産段階や処理場等でのクラスター発生により感染拡大が今後の輸入量に影響が出ることが予測される。アイテム別ではもも切身等の不足が予想され、日本国内ではブラジル正肉を代替えとして使用すると動きも聞かれる。 (2) 鶏肉調整品についてはタイからの輸入量は約28千t(112.4%)、中国からの輸入量は約15.4千t(118.6%)となっており、前月は前年数量を下回る輸入量となっていたが7月は上回る結果となった。今後は鶏肉調整品の輸入量も減少する見込みであり、量販店向けの輸入原料を使用した加熱加工品(唐揚げ等)が欠品しているとの話も聞かれるため、国内での国産原料を使用した加工品の拡大も期待される。
需要	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、令和3年6月は、全国一世帯当たりの3畜種生鮮肉の消費(購入)数量4,208g(前年比95.3%)、金額6,105円(同95.4%)と、前月同様に前年を下回った。鶏肉は3月から前年を下回っており、6月も数量1,461g(同91.4%)・金額1,328円(同94.3%)で前年を下回った。また、加工品についても加工肉全般で金額1,566円(同97.1%)と前年を下回っている。9月に入り、量販店の売り場にも少しずつ変化があり、鍋需要を期待した売り場構成になってきているため、今後、消費が増加することを期待したい。
	2. 量販・卸 (1) 食品関連スーパー3団体の販売統計速報によると、令和3年7月の食品売上高は全店ベースで前年比100.5%と前年並みに推移した。一方で生鮮3部門の売上高は全店ベースで前年比97.2%、既存店ベースでも同96%と前年を下回った。畜産部門の売上高は約1,113億円(同97.4%)、既存店ベース(同96.2%)とも前年を下回り、青果・水産部門でも全店ベースでは前年を下回った結果となった。「保存に優れた畜産品の需要が増加した前年からの反動減が続いており、特に加工肉や挽肉で前年との反動が大きかった。牛肉は気温上昇により焼肉用の動きがよく、相場高の輸入牛に比べ、国産牛が好調となった。一方でブランド牛の不振を指摘するコメントもみられた。豚肉はしゃぶしゃぶ用が好調、鶏肉は相場高の影響を受け伸び悩んだ店舗が多い。ハム・ソーセージなど加工肉はギフト関連商材に回復傾向がみられた一方で、一般商品には前年の好調の反動もみられた」と報告された。また総菜部門の売上高は全店ベース(同107.5%)、既存店ベース(同106%)ともに前年を上回った。「前年は家庭内調理の急伸や通勤客の減少、バラ売りの中止の影響で伸び悩んだが回復傾向が続いている。在宅勤務の増加で中食ニーズが堅調。昼食向けの米飯類やペーカリー、気温上昇により寿司類や冷麺類、サラダなどの冷惣菜、自宅で調理しにくい商品群である揚げ物が好調に推移した。外食店の時短営業に加え、家飲み、自宅でのオリンピック観戦需要として焼鳥やつまみ類も引き続き堅調に推移した」と報告があった。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる令和3年6月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前年比97.4%の4,567tとなった。うち国内物は同87%の3,480tと下回り、輸入物は同157.8%の1,087tと上回った。前月同様に輸入原料を使用した加工品の製造量は多くなっており、先々の原料不足を見込んでの製造かと推測される。
在庫	1. 令和3年(2021年7月) (1) (独)農畜産業振興機構の推計期末在庫では国産34.5千t(前年比117%・前月差+0.4千t)、輸入品113.7千t(同80.9%・同▲8千t)と合計で148.2千t(同87.1%・同▲7.5千t)となった。8月以降の在庫についても輸入量の減少が見込まれるため、前年を下回ると推測される。
	2. 見通し (1) (独)農畜産業振興機構の需給予測(令和3年8月26日公表)では、7月の出荷量は国産133.4千t(前年比104.7%・前月差▲9.1千t)、輸入品51.8千t(同82%・同▲0.6千t)と合計で185.2千t(同97.2%・同▲9.7千t)となった。8月～9月の出荷量は前年よりも少し上回ると推測されているが、タイ等からの正肉関係、加工品が減少する見込みで輸入在庫は減少傾向になると推測される。国産鶏肉在庫についてはむね肉・ささみの加工原料やペット関係の需要も高まり、量販店も少しずつ鶏肉も売れる季節になることから、在庫は減少していくと見込まれる。
相場	1. 令和3年8月動向 (1) 令和3年8月の月平均相場は、もも肉583円/kg(前月比▲17円)・むね肉308円/kg(同+7円)正肉合計で891円/2kgと前月比で10円下回るも、前年比では23円上回った。もも肉は月初590円で始まり、上げ下げを繰り返して、月を通じて下げ基調となり、月末579円と11円安で前月同様に下げ基調となった。むね肉は月初302円で始まり、もも肉同様に上げ下げを繰り返したが比較的高水準の310円前後を維持しながら、月末は312円と10円高となり、前月の月平均301円を超え、高水準を維持している。
	2. 見通し (1) 気象庁発表の向こう1か月の見通しによると、9月の気温は全国的に平年並みと予測されている。9月に入り、学校給食等も始まり、気候の変動が大きくなる季節であるが、量販店では冬場に向けた準備も始まり、少しずつ鍋商材等の品揃えも見られる。もも肉はまだ、販売の鈍化が見られるため、もも肉相場はもち合いの月平均580円と予測する。むね肉はタイからの輸入量の減少に伴い、量販店の取り扱い冷凍食品等の加工原料が一部国産にシフトするとの声も聞かれ、加工筋向けの引き合いが強いことから、やや上げの月平均310円と予測する。 (2) テーブルミートは内食需要に支えられているなかで家計消費は鈍化しているが輸入原料の不足が追い風となり、国産鶏肉生鮮相場についても少しずつ上昇していくのではないかと考えられる。

実績												
生産状況												
単位:千羽、千トン、%												
	R3年7月推計実績		R3年8月計画		R3年9月計画		R3年10月計画					
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比				
	入雛羽数	63,662	102.5%	64,600	100.8%	65,055	98.2%	70,225	98.0%			
処理羽数	59,949	101.0%	58,108	102.2%	59,339	100.6%	62,748	98.3%				
処理重量	179.7	101.3%	170.0	103.2%	174.3	102.6%	187.5	98.5%				
※参考資料:㈱全国食鳥新聞社発行「PMN」												
輸入動向												
単位:千トン、%												
品名	鶏肉			調製品			合計			比率		
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	鶏肉	調製品	
R3年4月	50.2	46.7	107.4	45.8	44.4	103.2	96.0	91.1	105.4	52.3	47.7	
R3年5月	46.2	36.1	128.0	36.0	36.6	98.4	82.2	72.7	113.1	56.2	43.8	
R3年6月	42.8	50.7	84.5	40.5	41.6	97.3	83.3	92.3	90.3	51.4	48.6	
R3年7月	44.7	51.6	86.7	43.9	38.4	114.3	88.6	90.0	98.5	50.5	49.5	
R3年累計	333.9	317.3	105.2	278.0	274.9	101.1	611.9	592.2	103.3	54.6	45.4	
鶏肉の消費動向(2人以上の世帯)												
単位:グラム、円、%												
履歴	数量			金額								
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比						
R3年4月	1,556	1,805	86.2	1,384	1,574	87.9						
R3年5月	1,527	1,716	89.0	1,426	1,578	90.4						
R3年6月	1,461	1,599	91.4	1,328	1,408	94.3						
R3年平均	1,514	1,583	95.6	1,395	1,438	97.0						
※参考資料:総務省統計局HP												
相場(年別・暦年)												
単位:円												
	もも肉	むね肉	計									
H26年	626	294	920									
H27年	639	336	975									
H28年	621	255	876									
H29年	626	315	941									
H30年	595	282	877									
R元年	585	243	828									
R2年	614	269	883									
在庫状況(推定)												
単位:千トン、%												
履歴	国産			輸入品			合計					
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R3年4月	31.7	27.2	116.4	129.8	144.6	89.8	161.5	171.8	94.0			
R3年5月	32.8	21.1	155.2	129.4	148.2	87.3	162.2	169.3	95.8			
R3年6月	34.1	18.5	183.9	121.7	152.1	80.0	155.8	170.6	91.3			
R3年7月	34.5	29.5	117.0	113.7	140.5	80.9	148.2	170.0	87.2			
※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構												
相場(月別)												
単位:円、%												
品名	もも肉			むね肉			正肉合計					
履歴	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比			
R3年5月	659	609	108.2	303	254	119.3	962	863	111.5			
R3年6月	631	610	103.4	296	257	115.2	927	867	106.9			
R3年7月	600	598	100.3	301	261	115.3	901	859	104.9			
R3年8月	583	596	97.8	308	272	113.2	891	868	102.6			
R3年9月	(580)	609	95.2	(310)	281	110.3	(890)	890	100.0			
R3年10月	(600)	632	94.9	(310)	292	106.2	(910)	924	98.5			
R3年平均	657	599	109.7	305	255	119.6	962	854	112.6			
※()は見通し												
※1-8月平均												